

(一般) 社団法人京都社会福祉士会 2021年度 事業報告

【基本方針】

新型コロナウイルスの感染拡大は、世界中に大きな影響、甚大な被害をもたらしました。日本においても感染拡大の長期化により、多くの人々が不自由で不安定な日常生活を送ることになりました。このような中、社会福祉分野に関わる生活困窮、孤立、自殺、虐待等の諸問題は、感染拡大以前より深刻化しました。また、面会やサービス利用の制限等が行われる中での利用者の権利擁護や、感染者とその人を支援する家族、機関、専門職への偏見や不当な差別等、新たな問題も出現しました。

このような中、現場の社会福祉士は、活動が大きく制限される状況に直面しつつも適切な支援を継続するために、自らの生活を律して多くの努力や工夫をし続けています。当会としては、そのような社会福祉士の声に耳を傾け、しっかりと支えていきたいと考えています。

また、2020年度の会活動の多くが新型コロナウイルスの影響で中止、延期、変更を余儀なくされましたが、SNSを活用した会議やオンライン研修の開催等、従来実施していなかった取り組みができました。会としては社会福祉士のスキルアップの機会を提供し続けるために、対面を基本としつつも、オンライン研修については2021年度も継続して実施していきます。

ウイルス流行拡大により、様変わりした社会の中で、今後も深刻な問題が数多く発生すると思われます。その時に社会福祉士はいち早く問題を察知し、解決に向けて行動していくことが求められます。関係機関、諸団体と連携をし、ポストコロナ社会における支援について検討していきたいと考えます。

これまで以上に今後を見通せない中で、会員が専門職としての役割を果たすことができるよう、柔軟に対応していきます。

《総括》

2021年度の京都社会福祉士会の活動は、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け、外部の機関等と関わることでは予定していたことが中止や延期になることがありました。また、対面での研修等はほとんど実施できませんでした。ただ、前年度と異なるのは、研修・会議を実施する側も参加する側もオンラインでの研修や会議を数多く経験することで、運営面ではスムーズに行えることが増えました。その結果、計画していた研修・会議等のほとんどは無事に実施することができました。日本社会福祉士会や近畿ブロック社会福祉士会における大会、研修、会議も全てオンラインでの実施となり、中止になることはありませんでした。研修内容等については、検討の余地がありますが、コロナ禍以降もオンラインでの開催は一定程度実施されるものと思われます。

その一方でオンラインでの開催が増えることにより、会員同士の交流の機会が減り、会員のメリットの一つである「横のつながり」が十分に作れないとの意見があり、どのように会員同士のつながりを作っていくかが今後の課題です。

また、2021年度はウクライナにおける戦争、社会福祉士会の政治的アプローチの問題等、マクロ的な視点や行動が求められることがありました。国家間の紛争、政治の問題については、多様な意見がある中で、京都社会福祉士会としてどのように考え、行動していくのかを考える良い機会となりました。今後も、社会福祉士の倫理綱領・行動規範を理解し、社会福祉士の専門職団体として適切に行動するよう努めます。

コロナ、戦争の影響により、不安定な社会となる可能性がある中、今後も人々の人権を擁護し、誰もが当たり前の生活を送れるように関係機関や団体等と協力しながら、専門職団体の役割を果たしていきたいと考えています。

【重点課題】

1. 第2期中長期計画（2019年度から2023年度までの5年間）の検証、見直しと計画実現に向けた検討

- ・6月総会で中長期計画の進捗状況について報告したが、十分な検証や見直しは出来ていない。

2. コロナ禍での会活動の検証と今後の活動方法の検討

- ・2020年度の活動を踏まえ、オンラインでの会議、研修等がスムーズに実施できるように体制を整え、コロナ禍で会活動を滞らせないようにした。今後については、対面を基本としつつも、感染状況に応じて臨機応変に対応するようにした。

3. ホームページ作成による広報・啓発活動の充実と会員拡大に向けた取り組み

- ・会員数は昨年度のとりの比較で24名増と、会員が著しく増えているわけではない。新しいホームページの作成はできず、広報活動が十分にできていない。会員拡大の取り組みについては、日本社会福祉士会の入会促進キャンペーンに参加するとともに、会独自のキャンペーンを実施することを決定している。

4. 多領域におけるソーシャルアクションの実施

- ・3月の世界ソーシャルワークデーの際の声明、精神障害者の保健福祉医療実現に向け（要望書）、成年後見利用促進に関する京都府への提言等、関係機関と連携をしてソーシャルアクションに取り組んだ。

5. 基礎的、実践的な研修の充実と社会福祉士育成への取り組み

- ・基礎研修、成年後見人材育成研修、支部研修の他、各部署の研修については、e-ラーニング、オンラインを活用しながら実施した。課題はあるが、研修を継続して実施できたことは評価したい。

6. 社会福祉士養成カリキュラムの変更を踏まえた社会福祉士養成の取り組み

- ・社会福祉士養成については、オンライン形式で実施した。新しいカリキュラムへの対応については、検討していない。

7. 新しい倫理綱領の理解促進と遵守に向けた取り組み

- ・日本社会福祉士会が開催した「倫理綱領・行動規範伝達研修のための試行研修」参加したが、研修資料等の作成が遅れていることから、会で研修等は実施できていない。2022年度に研修を開催したいと考えている。

8. 会運営・財政の検討

- ・コロナ禍において収入が減ることを想定し、無駄な支出がないようにする一方、コロナ禍での会運営に必要な費用等については適切に支出した。

9. 社会福祉士の専門性を発揮した質の高い活動の充実

- ・成年後見、第三者評価、介護認定審査会委員、スクールソーシャルワーク等、社会福祉士の専門性を発揮した活動を行っているが、十分な検証ができていない。

10. 社会福祉士任用拡大・職域拡大の実現に向けた取り組み

- ・2021年度は実施できていない。

11. 会員管理、会費管理に向けた体制作り

- ・会員管理・会費管理については、委託費用や管理に関する方向性の変化により、引き続き日本社会福祉士会に委託する予定である。

<事業>

1. 相談援助事業

(1) 無料相談の実施

- ・イベント会場等での相談会の開催（年3回）

○成年後見制度無料相談会：毎月第1土曜日（イオンモール高の原）
○京都府障害者相談センター移動相談会相談員派遣：11/16（舞鶴市西駅交流センター） 主催：京都障害児者親の会協議会

2. 権利擁護・成年後見事業

(1) 専門職後見人等としての資質の向上

- ・全体会の開催（2月）
- ・全体研修（更新研修）の開催（2月）
- ・運営会議（4回）
- ・アドバイザー会議、コーディネーター会議、ブロック会議、グループ長会議、研修担当者会議、報告書担当者会議、会計担当者会議、ぱあとなあ京都正副部長会議、会長・副会長との意見交換会（随時）
- ・グループ会議の充実（グループ/各月1回）
- ・ブロック研修会の開催（6ブロック 各2回）

○全体会の開催：書面会議 2/23（web）
○全体研修会：2/23（web）
○ブロック長会議等：随時開催
○グループ会議の充実：各グループ毎月開催、MLへの議事録配信
○ブロック研修会の開催：
・北部 11/6（web）「事例検討・グループワーク」
・口丹 1/25（web）「てびき改正について」
・中部A 2/26（web）「事例を通して後見人の姿勢・価値観を考える」
・中部B 2/11（web）「死後事務」
・中部C 12/18（web）「死後事務」
・南部 12/5（web）「虐待を受けている利用者への支援」

(2) 権利擁護に関する相談活動の実施

- ・電話等による相談受付（随時）
- ・相談会の開催

○アドバイザーによる相談への対応：随時対応
○イオン高の原での定期的な相談会への協力
○京都府障害者相談センター移動相談会への協力
○各種団体の依頼による研修会や相談会への参加、協力

(3) 後見人登録・受任活動

- ・成年後見人登録・受任活動
- ・苦情対応体制の確立
- ・受任バンクに関わる調整会議の開催（年6回）

○コーディネーターによる京都家庭裁判所からの受任依頼への対応と候補者の推薦：107件
○南丹市権利擁護・成年後見センター 後見依頼1件
○苦情への対応：随時対応

(4) 他団体との連携強化

- ・京都家庭裁判所との連携強化による信頼関係の維持、強化
- ・三士会への参加、他の専門職団体との研究会や意見交換会等への参加による他団体との連携強化、高齢者・障害者ケース研究会（三士会）の参画（年6回）

○三士会ケース研究会：8/30 12/8 3/3
○都道府県ぱあとなあ連絡協議会：11/6
○近畿ブロックぱあとなあ会議への参加：10/16
○京都市成年後見支援センターへの協力（運営委員、専門相談員）：運営委員 通年 専門相談2回

- 京都市権利擁護部会への協力
- 長岡京市成年後見制度利用促進体制整備に向けた専門相談：6/18 9/18 12/17
- 成年後見利用促進に関する連絡会：12/22
- 家連協 12/8 1/18
- 北区権利擁護ネットワーク会議（web）：4/27 7/27 3/23
- 西京区権利擁護ネットワーク会議（web）：4/12 7/12 10/11 2/14
- 伏見区権利擁護ネットワーク会議（web）：7/13 9/14 11/9 12/14 1/21 3/8

（５） 行政機関が実施する成年後見に関する事業への協力

- ・成年後見制度利用促進法の施行に伴う京都府下の市町村事業への支援
- ・京都府下の市町村が実施する市民後見人養成研修並びに市民後見人の後見活動への支援

- 南丹市権利擁護・成年後見センター運営委員会派遣
- 舞鶴市成年後見支援センター運営委員派遣
- 成年後見センター等の設置に関わる会議等への参加
- 相楽東部3 町村成年後見制度等権利擁護に係る意見交換会参加：5/26
- 京田辺市成年後見制度中核機関設置準備会参加：6/23 10/27、2/10
- 京田辺市権利擁護センター運営委員会に協力
- 木津川市成年後見制度利用促進に関する勉強会に参加：7/26 2/7
- 木津川市成年後見制度中核機関設置準備会に参加：8/25 9/27
- 精華町権利擁護・成年後見センター運営委員会に参加
- 長岡京市の勉強会に参加：8/4 11/12 12/14
- 亀岡市中核機関設置準備会議に参加：11/11 1/14
- 福知山市権利擁護ネットワーク会議：11/4 2/3
- 福知山市成年後見センター専門職定期相談会 相談員派遣
- 京丹後市権利擁護支援体制あり方検討委員会に参加
- 京都市障害者自立支援協議会への協力

（６） 成年後見活動への支援

- ・低所得者（生活困窮者）の権利擁護や支援活動（ばあとなあ基金の活用）

- 生活保護世帯や非課税世帯の成年被後見人等の基準を下回る報酬に対するばあとなあ基金を利用した報酬助成
- アドバイザーによる内部相談

（７） 権利擁護・成年後見制度の府民・福祉専門職等への啓発活動

- ・府民、福祉専門職等への権利擁護・成年後見制度の啓蒙活動
- ・研修講師の派遣、講師研修の検討と実施
- ・成年後見制度活用講座の開催

- 京都市成年後見支援センター研修への講師派遣：1/28

（８） 成年後見人の養成

- ・成年後見人材育成研修（支部委託研修）の開催（全4回）
- ・名簿登録研修の開催（1回）の開催
- ・フォローアップ研修の開催
- ・未成年後見人養成研修への参加

- 成年後見人材育成研修の実施：8/1 9/5 10/3 11/7 修了者35名
- 名簿登録研修の実施：1/23 32名

（９） 京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター事業の運営

- ・京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター事業への参画、協力
- ・関係団体等との連携強化

- 京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター事業受託、運営協力
- 電話相談、専門職派遣、事例検討会開催、成年後見制度普及啓発の取組等の実施

（１０） 組織管理体制の整備

- ・ばあとなあ京都230人体制に向けた組織のあり方の検討
- ・業務監査委員会の設置と運用

- ・成年後見制度を取り巻く状況の把握
- ・倫理綱領・行動規範の遵守に向けた取り組み
- ・法人後見制度に関する調査・研究
- ・未成年後見に関する検討

○ばあとなあ運営会議の開催：6/5 9/4 12/4 3/5
 ○ブロック会議を随時開催し、運営の円滑化を図った
 ○グループ毎にばあとなあ2月定期報告の点検を行った上、ブロック毎に再点検を行い、適切な活動が行われているかどうかの点検を実施
 ○アドバイザー会議：9/3

3. 広報啓発事業

(1) ホームページの作成とフェイスブック・電子メールによる情報発信

- ・ホームページの管理運営体制を変更し、積極的な情報発信を実施
- ・フェイスブックの内容充実と電子メールによる情報発信
- ・MLの活用促進

○ホームページ、Facebook、メーリングリスト等を活用した情報発信と研修や活動への参加の呼びかけ

(2) 『京つうしん』の発行

- ・『京つうしん』充実のための検討・実施
- ・担当部署の設置

○京つうしんの発行：6回（GW号、7月号、9月号、12月号、新年号、3月号）

(3) 地域毎の広報啓発事業の実施

- ・支部独自の情報発信

○南部支部だよりの発行

(4) 府民に向けた取り組み

- ・京都における社会福祉士（会）の活動紹介
- ・府民への社会福祉士（会）の周知
- ・会紹介パンフレットの作成

○ホームページの更新（随時）
 ○Facebook を使った情報発信

(5) ソーシャルワーカーデー等での啓発活動

- ・ソーシャルワーカーデー（7月22日海の日）に合わせた取り組み
- ・世界ソーシャルワークデー（3月15日）に合わせた取り組み
- ・関係団体との連携

○ソーシャルワーカーデー：7/18 テーマ「生活保護基準引き下げ裁判で問われる生存権」ZOOM 開催
 ○世界ソーシャルワークデー：3/26 テーマ「ハンセン病問題はまた終わっていない」ZOOM 開催
 共催：京都精神保健福祉士会協会、京都医療ソーシャルワーカー協会

4. 人材開発・研修事業

(1) 生涯研修センターによる生涯研修制度推進

① 京都生涯研修センターの安定した運営

- ・生涯研修センターを中心にした研修実施体制の構築

② 生涯研修制度に対応した基礎研修の実施と準備

- ・基礎研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの開催（6月～2月）
- ・基礎研修Ⅰ～Ⅲを実施し、研修修了後は会員相互のスキルアップが図られるように支援
- ・基礎研修修了者へのスーパーバイザー研修等、フォローアップ体制の構築

③ 支部研修の実施

- ・各支部で計画・実施

④ 共通基盤研修実施の取り組み

- ・年1回開催（近畿ブロック研究研修大会）

⑤ 新たな研修の企画・開催

- ・オンライン研修の検討と実施
- ・新しい倫理綱領・行動規範に関する勉強会の実施
- ・スキルアップのための研修の開催（3月総会時）
- ・会員の実践発表への支援（6月総会時/随時）
- ・認定社会福祉士制度に関わる研修の検討
- ・e-ラーニング活用の検討
- ・会員だけでなく、非会員や府民対象の研修の場を設ける。

○基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実施（2021年7月～2022年3月）

コロナ禍により、集合研修は対面とオンラインを状況に応じて選択実施した他、講義部分については、日本社会福祉士会のe-ラーニングを活用し実施した。

基礎研修Ⅰ：受講決定者数72名 修了者数54名

基礎研修Ⅱ：受講決定者数47名 修了者数39名

基礎研修Ⅲ：受講決定者数37名 修了者数31名

○基礎研修会実施に係るZOOM操作練習会の実施。（2回）

○スーパーバイザーによるSVコーディネート

(2) 高齢者・障害者虐待対応派遣者の養成

- ・京都府障害者・高齢者権利擁護支援センターの専門職派遣に対応できる人材の養成

○京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター専門部会への参加・協力

(3) 委託研修等の実施と講師派遣

- ・委託研修の受託と実施
- ・他団体等への講師派遣
- ・日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会が開催する研修への協力

○講師派遣依頼は担当部署で人選し、派遣

(4) 社会福祉士養成校協会加盟校との連携

- ・継続的な協力関係の構築の検討

○受験対策講座等への講師派遣

5. 地域活動支援事業

(1) 近畿ブロック研修・研究大会の開催

- ・近畿ブロック研究・研修和歌山大会への協力（2月）

○和歌山大会は、和歌山県社会福祉士会の企画運営の下、オンラインで開催

(2) 支部活動の充実

- ・各種研修、相談活動の実施
- ・連携強化の取り組み
- ・地域のイベントへの参加

○北部支部

・京都府障害者相談支援センター移動相談会（舞鶴）に相談員（1名）を派遣：11/16

・Web研修会「講演「コロナ禍でソーシャルワークは変わるのか～元気出していこう、ソーシャルワーカー」講演・グループワーク」をZOOM開催 2/24 講師：福富相談役 参加者15名

○南部支部

・研修会「京都府の不登校、ひきこもり支援 ～現状と具体的な支援について～」2022/2/19 ZOOMで実施

・計6回の役員会を開催して支部活動のあり方や企画を検討

6. 調査研究事業

(1) 会員が行う研究会等への支援

・会員が自主的に行う研究会・勉強会等への支援の拡充

○研修補助制度の継続（申請なし）

(2) 生活困窮者支援に関する研究

・生活困窮者支援研究会への支援

○未実施

(3) 災害対策・支援に関する検討

・災害対策・支援に関する研究会の開催
・京都府災害時要配慮者避難支援センター事業への協力
・近畿ブロック災害支援ソーシャルワーク研修への協力

○京都府災害派遣福祉チーム（京都DWA T）研修参加

・新規メンバー養成「合同養成研修」12名修了、メンバー登録

○災害支援活動者養成研修 2020年度開催が2021年5月29日、30日に延期されていたが、緊急事態宣言により無期延期となった

(4) 社会福祉士実習に関する研究会の開催

・実習連絡会の開催（2回）

○実習連絡会：7/31（2021）、2/12（2022）（ZOOM開催）

○実習全般に関する相談：随時対応

○実習指導者資料集 改訂版作成

(5) 研修修了者等による意見交換会の開催

・自殺予防対策ソーシャルワーク研修修了者

○未実施

(6) SV体制構築

・SV体制の構築（スーパーバイザー登録者の活動状況、意見のとりまとめ）
・資質の向上を図る（スーパーバイザー登録者の情報共有、相互研鑽）

○スーパーバイザー登録者数13名

○スーパービジョンコーディネーター申込み10名、内契約件数9件

(7) 新たな研究事業の企画検討

○未実施

7. サービス評価事業

(1) 第三者評価の実施

・介護サービス評価の実施（10件）
・福祉サービス評価の実施（8件）
・社会的養護施設（0件）

○介護サービス15件、福祉サービス10件

※緊急事態宣言、まん延防止重点措置の影響により、9件の調査が2022年度に持ち越し

(2) 調査員の養成とスキルアップ

- ・研修会の開催（年1回 夏）
- ・役員会の開催（月1回）
- ・調査員養成（養成研修開催時）

○介護・福祉サービス第三者評価調査者養成研修（主催：京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構）5名修了
 ○社会的養護関係施設 第三者評価事業 「評価調査者」継続研修 3名修了
 ○社会的養護関係施設 第三者評価事業 評価機関更新研修会 修了

(3) 他の評価機関との連携

- ・外部委員会、第三者評価機関ネットワーク会議への参加

○評価機関ネットワーク会議への参画
 ○滋賀県健康福祉サービス評価調査者養成研修/継続研修への講師派遣

8. 資格取得支援事業

(1) 社会福祉士国家試験対策の実施

① 社会福祉士国家試験受験対策講座の開催

- ・夏期講座（1日）・秋期講座（4日）・受験対策直前講座（2日）

○プレ企画（1日）：6/6（ZOOM）参加者34名
 ○秋期講座（4日間）：10/3、10/9、10/10、10/17（全てZOOM）受講者9名 全19科目
 ○直前講座（2日間）：12/12、12/26（全てZOOM）受講者11名 苦手科目7科目

② 全国統一模擬試験の実施

- ・11月

○社会福祉士国家試験全国統一模擬試験 在宅受験：13名

③ 大学・他団体との連携

- ・大学との連携受験対策（龍谷大、立命館大等）
- ・国家試験対策に関する連携（京都府社会福祉協議会）

○立命館大（京都社会福祉士会所属会員に対して個別依頼）
 ○京都府社会福祉協議会主催受験対策講座との連携

④ 国家試験受験対策への取り組みの検討

- ・定例会会議（6回）
- ・効果的な受験対策の検討
- ・近畿ブロック社会福祉士会との連携
- ・受験対策講座ガイダンスの開催（6月）
- ・広報活動（SNSを活用した資格取得支援事業の広報活動/他の委員会・事業部との人事交流）

○定例会議：4/3、4/18、7/18、11/7
 ○近畿ブロック社会福祉会受験対策会議：実施されず
 ○受験対策講座ガイダンス（プレ企画）：6/6（ZOOM）参加者34名
 ○国試激励行動：みやこめっせ 講師2人で応援

⑤ 入会促進

- ・国家試験合格者の祝賀会と京都社会福祉士会への入会説明会の開催（3月）

○未実施

(2) 介護支援専門員実務研修受講試験受験対策講座の開催（共催）

- ・京都府社会福祉協議会と共催（8月～9月）

○介護支援専門員実務研修受講試験受験対策講座（共催：京都府社会福祉協議会）：7/4、7/18、8/22、9/18

(3) 介護支援専門員模擬試験の実施

- ・年1回（8月 京都市・北部）

○介護支援専門員模擬試験：在宅受験 申込 37 名

(4) 実習指導者講習会の開催

- ・年1回（12月／50名）
- ・近畿他府県で開催する講習会への協力
- ・近畿ブロック内での実習指導者養成に関する検討会への参加

○実習指導者講習会：12/18-19（同志社大学）53名受講※『実習指導者資料集』（京都実習班作）、『実習マネジメント論お助け資料集』配布（近畿ブロック実習班作）

○近畿ブロック実習班担当者会議：4/17、6/5、7/24、8/21、10/16、11/6、2/19（ZOOM開催、※11月のみ大阪社会福祉士会事務局にて開催）

○実習指導者講習会講師養成研修（主催：日本社会福祉士会）受講：6名

9. 介護認定審査会委員等支援事業

(1) 介護認定審査会委員研修の実施

- ・年1回（11月）

○12/18 介護保険委員会主催研修「認知症になってわかったこと」～家族や当事者の声を聴く～

場所：ZOOMでのオンライン研修（オンラインで参加不可な方に限りハートピア京都3階視聴覚室）

講師：京都福祉サービス協会 京都市西院老人デイサービスセンター ケアワーカー 下坂 厚氏

参加者：41名（ZOOM参加28名・会場参加13名）

(2) 介護認定審査会委員資質向上への取組

- ・相互交流とスキルアップを図るための機会確保
- ・相互支援・連携体制の構築
- ・オンライン会議、研修の為にスキルを高める

○アンケートによる情報交換

- ・所属している合議体での役割について
- ・定例会及び研修等に対するオンライン環境について
- ・介護保険委員会での研修会で希望される内容について

(3) 介護保険制度に関わる会員の相互交流と制度への提言

- ・委員会の定例開催（4回）
- ・意見交流の場の設置とソーシャルアクション・提言の実施

○介護保険委員会：5/8 7/10 9/11 1/8 の4回の開催を予定していたが、コロナ禍における緊急事態宣言等の発令を受け5/8 9/11は中止しアンケートで意見集約を実施。7/10 1/8はオンラインにて情報共有を行った。

(4) 他団体等との連携

- ・介護保険に関わる他団体、他職種との連携

○地域包括ケア推進機構「認知症総合対策推進プロジェクト」オンライン会議参加

10. 子ども家庭福祉支援事業

(1) スクールソーシャルワーカー養成の取り組み

- ・スクールソーシャルワーカー養成講座の開催
- ・京都府まなび・生活アドバイザー推薦者向け勉強会

○2021年度スクールソーシャルワーカー養成講座（認証研修）：8/21、8/22、9/4 3日間、ZOOMで実施（31人修了）

○現任京都府まなび・生活アドバイザー（会員限定）の研修会をZOOMにて3日間実施

(2) スクールソーシャルワーカー現任者等の交流会の実施

- ・スクールソーシャルワーカー現任者及び目指す会員の研修会の開催

○毎月第2土曜日の夜に子ども家庭福祉委員会の定例 ZOOM ミーティングを開催（12回）、その中で、委員会メンバーを
話題提供者に年間4回の自主勉強会を開催

(3) 子ども家庭福祉領域に関わる研修会の実施

- ・子ども家庭福祉領域に関する公開研修会の開催

○未実施

(4) 他団体との連携

- ・京都府教育委員会との連携
- ・市町村要保護児童対策調整機関専門職研修への協力など、こども家庭福祉領域での京都府・市（福祉部門）との連携
- ・滋賀県社会福祉士会子ども家庭福祉研究会との連携

○京都府まなび・生活アドバイザーへ身分の会計年度任用職員への変更に伴い、本会の会員推薦制度は廃止されたが、制度内容への提言や養成研修への講師招請など連携に努めた

○京都府教育委員会との懇談

○京都府内市町のいじめ防止・再調査等委員会組織への委員等の派遣

○京都教育大学へのスクールソーシャルワーカーの派遣

11. 「司法と福祉」に関する事業

(1) 司法と福祉に関する研究の促進

- ・委員会の定例開催（年7回 4月、6月、8月、10月、12月、2月、3月）
- ・施設見学会の実施（9月）
- ・司法と福祉に関する研修の計画

○定例会 Zoom形式による定例会の開催 5月、8月、10月、12月、3月 対面による開催 11月
※4月（コロナ禍で中止）

(2) 研修会の開催

- ・リーガルソーシャルワーク研修（11月）
- ・公開研修会の開催（年1回 2月）
- ・司法と福祉に関する勉強会の開催（年1回 5月）

○リーガルソーシャルワーク研修 Zoom形式による開催 2月19日、20日

○司法と福祉に関する勉強会の開催 Zoom形式による会員の実践報告会を実施（3回）

(3) 関係機関とのネットワーク作り

- ・京都地方検察庁との連携強化
- ・研修会等を通じたネットワークの強化と拡大
- ・司法と福祉分野に関連する情報の積極的な発信
- ・都道府県社会福祉士会との連携

○検察庁との連携：京都地方検察庁と入口支援の協力連携（年間）

○地域包括支援センター職員との意見交換（10月）

○京都犯罪被害者支援センターとの連携：犯罪被害者支援京都フォーラムへの出席（11月）

○行政機関との連携：少年サポートセンター職員との意見交換（12月）

12. 地域包括ケア・共生社会事業

(1) 地域を基盤に活動する社会福祉士に対する支援・レベル向上

地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修（5月、7月）

社会福祉士小規模相談会（秋～冬）

定例委員会議（毎月第4火曜日）

○地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修の実施（web）：5/30、7/3 受講者 14 名
○定例委員会議：4/27、5/20、6/22、7/27、8/24、9/28、10/26、11/23、12/28、1/27、2/22、3/22
※感染症対策として ZOOM 会議を開催。研修準備に必要な時のみ集合で委員会を開催し共有を図っている
○2021 年度地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修（講師養成研修）（web）の参加：12/26 委員より 3 名

<運営>

1. 組織拡大と体制整備

(1) 会組織の体制強化

① 中長期計画の推進

中長期計画【2019年度～2023年度】状況の検証と推進への取り組み

○進捗状況について6月総会で報告した。全体の見直し等の検討はしていない

② 会組織の見直しと改編の検討

役員改選後の体制作りと
必要な規則等の制定と見直し

○2021 年度第 1 回定期総会にて役員改選を実施。新たな規則等は設けていない。

③ 収支（及び事業内容）の精査・見直し

法人運営における収入・支出の精査・見直し
ばあとなあ基金の再開

○運営協議会等で県と
○税理士による毎月の会計確認

④ 会員への支援体制の強化

○事務局等で、随時相談に対応

(2) 会員数拡大策の実施（目標数 1150 名）

① 組織率アップを図る

新たなプロジェクトチームを立ち上げ、会員拡大の具体的な取り組みを実施
組織率アップに向けた関係団体等への働きかけ
会パンフレットの作成・配布

○会員数 1096 名（3 月）・・・最大 1122 名 ※2020 年度末 1072 名

② 入会促進キャンペーンの実施

○40 歳以下の新入会員 対象者 17 名に入会金 5,000 円をキャッシュバック

(3) 支部活動の強化

支部活動の検討と支援

○研修案内のチラシ等の作成、広報

(4) 日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会との連携

日本社会福祉士会主催の研修、会議等への参加
近畿ブロック社会福祉士会との連携と会議の開催

- 日本社会福祉士会 2021 年度第 1 回全国生涯研修委員会会議：4/11 (ZOOM)
- 日本社会福祉士会 ぱあとなあ活動報告書 IT 化説明会：5/22 (ZOOM)
- 日本社会福祉士会 2021 年度総会：6/19 (ZOOM)
- 日本社会福祉士会 社会福祉士の倫理綱領・行動規範の伝達に向けた研修：8/15 (ZOOM)
- 日本社会福祉士会 臨時総会：10/2 (ZOOM)
- 都道府県社会福祉士会 会長会議：10/2 (ZOOM)
- 日本社会福祉士会 2021 年度第 2 回全国生涯研修委員会会議：10/17 (ZOOM)
- 日本社会福祉士会 2021 年度新スーパーバイザー養成研修：10/30、31 (ZOOM)
- 2021 年度都道府県 ぱあとなあ連絡協議会：11/6 (ZOOM)
- 2021 年度スクールソーシャルワーク実践アドバイザー養成研修、スクールソーシャルワーク担当者意見交換会：11/28 (ZOOM)
- 「福祉専門職支援協議連」議員に対する推薦協力の経緯に関する説明会：12/12 (ZOOM)
- 地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修（講師養成研修）：12/26 (ZOOM)
- 新実習指導者講習会講師養成研修：2022 年 1/29、30 (動画視聴、ZOOM)
- 基礎研修講師養成研修：2022 年 2/11、12 (ZOOM)
- 2021 年度事務局代表者会議：2022 年 2/20 (ZOOM)
- スーパーバイザーのためのリーダー養成研修：2022 年 2/23 (ZOOM)
- 日本社会福祉士会 臨時総会：2022 年 3/19 (ZOOM)
- 近畿ブロック代表者会議：6/17、8/29、2/5、3/19 (全て ZOOM)
- 近畿ブロック研修担当者会議：9/18、2/5 (全て ZOOM)
- 近畿ブロック実習担当者会議：4/17、6/5、7/24、8/21、10/16、11/6、2/19 (11/6 のみ大阪社会福祉士会、以外は ZOOM)
- 近畿ブロック ぱあとなあ担当者会議：10/16 (ZOOM)
- 近畿ブロック 研究・研修大会和歌山大会査読会：11/6 (ZOOM)

(5) 他機関・他団体との連携と協力

委員、講師等の派遣

行政機関、関係団体等が主催する会議等への参加

【京都府】

- 京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター運営の委託
- 京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター運営委員会委員
- 京都地域包括ケア推進機構「認知症総合対策プロジェクト」
- きょうと介護・福祉ジョブネット ワーキング・プロジェクトチーム
・業界育成チーム ・北部フィールドワーク型実習推進チーム
- 京都府北部福祉人材確保・定着戦略会議
- 認知症リンクワーカー検討会検討委員
- まなび・生活アドバイザー

【京都市】

- 京都市保健福祉局指定管理者選定委員会委員
- 京都市精神医療審査会委員
- 京都市洛西ふれあいの里の民間委託に係る契約候補事業者選定委員会委員
- 京都市社会福祉審議会社会福祉充実計画審査専門分科会特別委員
- 京都市障害者自立支援協議会「権利擁護部会」委員
- 京都市介護認定審査会委員

【京都府社会福祉協議会】

- 京都府社会福祉協議会評議員
- 京都府社会福祉協議会 生活福祉資金運営委員会委員
- 令和 3 年度福祉職場就職フェア実行委員会委員
- 京都介護・福祉第三者評価等支援機構理事、介護保険事業委員会委員
- 京都府福祉サービス運営適正化委員会委員
- 京都府福祉人材・研修センター運営委員会委員
- 京都府福祉人材・研修センター運営委員会人材センター部会委員

【京都市社会福祉協議会】

- 京都市社会福祉協議会理事
- 令和 3 年度京都市高齢者虐待事例研究会委員

【権利擁護・成年後見関係】

- 京都市社会福祉協議会 地域福祉権利擁護事業に係る契約締結審査会委員
- 京都市社会福祉協議会 日常生活自立支援事業契約締結審査会及び法人後見事業審査会委員／京都市単身高齢者万
あんしんサービス事業契約締結審査会委員
- 京都市成年後見支援センター運営委員
- 令和 3 年度京都市成年後見支援センター事業（相談員派遣）
- 舞鶴市成年後見支援センター運営委員会委員

- 福知山市権利擁護ネットワーク会議委員
- 南丹市権利擁護・成年後見センター運営委員
- 精華町権利擁護・成年後見センター運営委員会委員
- 京丹後市権利擁護支援体制あり方検討委員会委員
- 伊根町福祉保健医療ネットワーク会議権利擁護部会
- 宮津市成年後見制度中核機関設立準備会委員
- 与謝野町権利擁護支援体制検討委員
- 亀岡市中核機関等設置準備会議
- 長岡京市成年後見制度利用促進体制整備に向けた合同勉強会、相談会
- 京田辺市成年後見制度中核機関設置準備会
- 木津川市成年後見制度中核機関設置準備会
- 【子ども・家庭・学校関係】
- 舞鶴市いじめから子どもを守る会議
- 福知山市いじめ防止対策推進委員会委員
- 宇治市学校支援チーム委員
- 宇治市子ども・子育て会議委員
- 木津川市いじめ防止等対策委員会
- 木津川市いじめ再調査委員会委員
- 宇治田原町いじめ防止対策推進委員会委員及び宇治田原町教育委員会いじめ調査委員会委員（2020年から任期中）
- 宇治田原町いじめ再調査委員会委員
- 【その他】
- 京都府障害者相談センター運営委員会委員
- 城陽市介護認定審査会委員
- 京都府介護支援専門員会特任理事
- 一般社団法人京都精神保健福祉協会理事（任期中）
- 京都医健専門学校教育課程編成委員
- 京都府検察庁福祉アドバイザー
- 【講師・相談員派遣】
- 福知山市 市民後見人フォローアップ研修
- 京都市長寿すこやかセンター 令和3年度成年後見セミナー
- 京都市成年後見支援センター 令和3年度京都市市民後見人養成研修講座
- 令和3年度京都介護・福祉サービス評価調査者養成研修
- 滋賀県健康福祉サービス第三者評価調査者養成研修・継続研修
- 認定特定非営利活動法人F a S o L a b o 京都食物アレルギー児の保護者向け学校説明会
- 社会福祉法人京都市社会福祉協議会 令和3年度成年後見制度に係る専門職派遣事業
- 長岡京市成年後見制度利用促進体制整備に向けた専門職相談
- 京田辺市令和3年度権利擁護啓発事業「成年後見を考えてみよう」フェア
- 京都障害児者親の会協議会 京都府障害者相談センター移動相談会

2. 会員活動への支援

(1) 会員からの相談・要望への対応

- ① 相談受付体制の確立
- ② 新たな活動に対する支援の検討

○相談等には適宜対応している

(2) 社会福祉実践活動への支援

独立型社会福祉士への支援の検討
会への問合せに対応する会員への支援

○独立型社会福祉士への支援は未実施
○問い合わせには適宜対応している

(3) 新しい社会福祉士倫理綱領・行動規範の遵守に向けた取り組み

○日本社会福祉士会が主催した倫理綱領・行動規範に関する研修に3名参加

3. 事務局の充実

(1) 事務局体制の充実

- ① 日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会との協力体制と事務分担の確立
- ② 会員・会費管理に向けた体制整備

○事務局職員体制：事務局長1名、事務局次長1名、常勤職員1名、非常勤職員2名（週3日6時間）

(2) 歳出削減

- ① 歳出削減への取り組み
- ② 経費の見直し

○会計担当者、事務局、各部署、税理士と連携した歳出削減への取り組み、経費見直しの実施

2021年度年間会議報告

<総会>

	開催日	会場	主な議案
第1回	6・26	ZOOM	2020年度事業報告・決算、2021年度特別会計予算、行動規範、役員改選、綱紀委員選出
第2回	3・26	ZOOM	2022年度事業計画、予算

<理事会>

	開催日	会場	主な検討事項
第1回	5・22	ZOOM	2020年度事業報告・決算、2021年度特別会計予算、行動規範、役員改選等
第2回	6・26	ZOOM	会長選出等
第3回	7・17	京都テルサ	2021年度第1回総会振り返り、2021年度予定について等
第4回	11・20	ハートピア京都	政治的アプローチ、補正予算、下半期の活動等
第5回	2・19	ZOOM	2022年度事業計画・予算、第2回総会、政治的アプローチ等

※理事会では毎回、会員の入退会について検討しています。

<運営協議会>

	開催日	会場	主な検討事項
第1回	4・17	ZOOM	2021年度第1回総会について、研修ガイドライン等
第2回	5・22	ZOOM	2021年度第1回総会（2020年度事業報告、決算、2021年度特別会計予算、行動規範、役員改選等）等
第3回	7・17	京都テルサ	2021年度第1回総会の振り返り、2021年度の活動について等
第4回	9・18	ZOOM	災害支援、実習指導者講習会、下半期の活動等
第5回	10・16	京都JAビル	2022年度会費、政治的アプローチ、会の課題等
第6回	11・20	ハートピア京都	政治的アプローチ、事務委託、2022年度事業計画等
第7回	12・18	ハートピア京都	政治的アプローチ、2022年度事業計画等
第8回	1・15	ZOOM	2022年度事業計画・予算、2021年度第2回総会等
第9回	2・19	ZOOM	2022年度事業計画・予算、2021年度第2回総会等

※毎回、支部・事業部・委員会報告を行っています。